

第5回日本運動器理学療法学会学術集会

テーマ：運動器障害をどう捉え、アプローチするか

会場：札幌市教育文化会館（住所：札幌市中央区北1条西13丁目）

会期：2017年9月23日（土曜日）13時～19時

9月24日（日曜日）10時～17時

学術集会長：対馬 栄輝（弘前大学）

学術副集会長：山崎 肇（羊ヶ丘病院）

準備委員長：石田 和宏（えにわ病院）

概要：運動器障害に対する理学療法は障害を捉える考え方に変遷しており、現在までそのパラダイムチェンジの概念について話題提供してきた。本学会では、その後どう展開するべきかについて提案をしたい。具体的には障害部位によるアプローチと、全体障害像に対するアプローチの融合を試みて、今後の運動器理学療法発展のきっかけとするつもりである。

主催：日本運動器理学療法学会、徒手理学療法部門、
ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門

プログラム：特別講演、シンポジウム、一般演題、症例検討

演題募集期間（予定）：5月23日～6月23日

問い合わせ：我汝会えにわ病院 リハビリテーション科

reha@eniwa-hosp.com 石田和宏